



作文1部

もんぶかくだいじんしょう
文部科学大臣賞

時をこえて

ながさきけんながさきしりつひみ
長崎県長崎市立日見小学校三年

おおき
大木 梨音

私は、思わず見とれていました。目の前に、黄金色にかがやくいなほと、真つ青に広がる空の風けいが広がっていたからです。とてもきれいで、しばらく目をうばわれていました。

去年の秋、母が

「吉野がりいせきに行こう」

と言いました。私は、そこがどういふ場所かよくわからなかったのですが、行ってみておどろきました。そこは、やよい時代の集落をさいげんしていて、タイムスリップしたような気分になりました。この時代に、米作りや金ぞくの道具が伝わったとされています。

ここでは、古代米と言われている「赤米」を食べることができます。私は、赤米のおにぎりを食べました。白米と赤米をまぜてたいているのでさくら色になり、見

た目がきれいでかわいいおにぎりでした。食感もつちりしていて、どくとくのこうばしい風味があつてもおいしかったです。やよい時代のけ色を見ながら古代米のおにぎりを食べ、本当にぜいたくな時間をすごしました。昔の人も同じお米を食べていたんだと思い、今と昔がお米でつながっているような不思議な気持ちになりました。

日本はお米の国で、なんと、三百しゅるい以上あるそうです。日本の気こうにあわせて、また日本人の好みにあうようにかいりようされてきました。昔の人が、お米をたやさず大切に育ててくれたおかげで、私たちは今、おいしいごはんを食べることができます。

しかし今、日本人のお米の消ひりようがへつてきているそうです。せつかく長い間、お米の文化がつづいているのに、もつたないと思います。私はこれから、ごはんを食べられることに感しやして、大切に味わって食べようと思います。昔から今、そして未来へ、お米のおいしさやすばらしさを伝えていきたいです。